

歯科口腔外科
部長

藤原 敏勝



当科の概要

歯科口腔外科は、平成7年市立札幌病院が桑園に移転した際開設した診療科です。

虫歯や歯周病などの一般歯科診療から顎口腔領域の外傷、炎症、腫瘍などさまざまな疾患に対して治療に当たっています。

現在のスタッフは常勤歯科医師が2名、非常勤歯科麻酔科医師1名、研修歯科医師1名、歯科衛生士4名、看護師1名にて診療を行っています。

診療体制

月曜日から金曜日まで、外来受診患者さんの診察を行っています。

月曜日は、全身麻酔での手術を行うため初診の患者さんのみを受け付けていますが、火曜日から金曜日は、完全予約制での再来患者診療とともに初診の患者さんの診察も行っていきます。

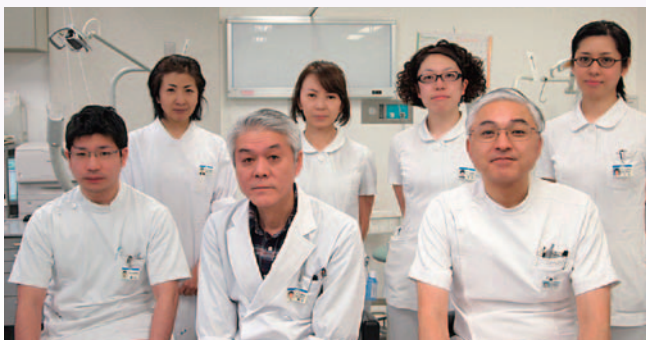
また、木曜日は歯科麻酔科医の管理の下、静脈内鎮静法を用いた一般歯科治療や、口腔外科手術を行っています。

当科の特徴

当科では、何らかの全身疾患があり、歯科治療時に使用する局所麻酔剤によって体調に異常が生じる危険性がある患者さんや服用中の薬の影響で観血処置が困難な患者さんに対して、治療中の呼吸循環動態を観察し必要であれば1~2泊の入院をもらい一般歯科治療や口腔外科手術を行っています。

また、歯科治療時に発生するストレスによって血圧や脈拍など循環機能が大きく変動する可能性がある患者さんや歯科治療に強い恐怖心を持つ患者さん、絞やく反射があり歯科治療が困難な患者さんに対しては、歯科麻酔科医の管理の下、静脈内鎮静法を用いた入院治療を行っています。

入院期間は、患者さんの全身状態、既往疾患によって日帰り入院または、1~2泊の入院になります。



静脈内鎮静法

歯科治療に対して不安や恐怖心が強い患者さん、高血圧や心疾患などの全身疾患がある患者さん、また、治療による侵襲が大きい症例などを対象に静脈内鎮静法を用いた治療を行っています。

静脈内鎮静法は、腕の血管(静脈)に点滴で少しずつ鎮静剤を入れながら治療を行うため、血圧・脈拍が安定するほか、鎮静剤の作用である健忘効果により治療中の恐怖心を覚えていない方が大半です。

また、入院期間も短く安心、安全に一般歯科治療や口腔外科手術を受ける事ができることから、当科での昨年度静脈内鎮静法を用いた治療件数は、合計113症例(うちニューロレプト麻酔9症例)となっています。

外来診療	麻酔科医による術前診察	
	日帰り入院	泊まり入院
手術当日	治療(午前限定)	治療(午前または午後)
	↓	↓
	午後処置後の診察	翌日診察
	↓	↓
	退院(付き添い必要)	退院
外来診療	歯科医師の指示により日程決定	

図) 静脈内鎮静法での治療の流れ

地域との連携

近年は高齢者の増加に伴いさまざまな全身疾患を持ち、複数の薬を服用している患者さんや年齢を問わず歯科治療に対する恐怖心を強く持った患者さんが増えています。

当科では患者さんがリラックスして安心、安全に歯科治療を受けることができるように今後、より一層地域の歯科医院と連携し治療を行っていきたいと考えています。

また、地域の歯科医院に通院治療途中の患者さんが当院他科に入院し継続治療が必要であれば入院期間中は当科で治療を行うことも可能ですので気軽にご相談ください。

外来にて：

前列右より：中村 英司副部長・藤原部長・横山 朋隆研修歯科医師
後列(歯科衛生士) 右より：三上 妙奈・菅原 真実・阿部 真美
三上 由美